

各種統計資料

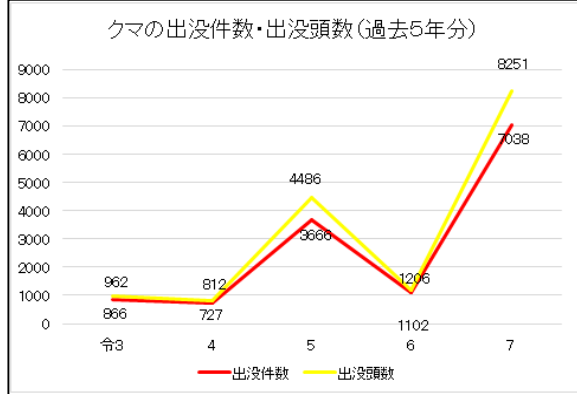
生活安全部

生活安全部の統計資料はこちら

地域課

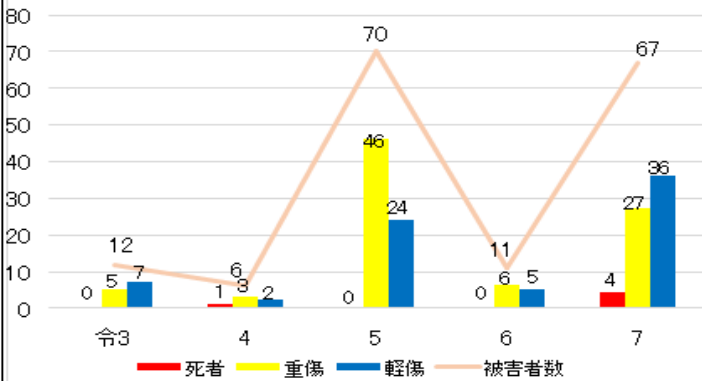
クマ 出 没 件 数 等

区分/年次	令3	4	5	6	7	増減数(人)
出没件数	866	727	3,666	1,102	7,038	5,936
出没頭数	962	812	4,486	1,206	8,251	7,045
人身被害件数	12	6	62	10	59	49
被害者(人)	12	6	70	11	67	56
負傷者	死者	0	1	0	0	4
	重傷	5	3	46	6	21
	軽傷	7	2	24	5	31



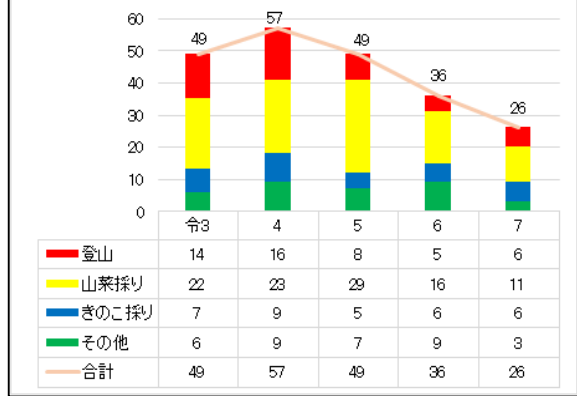
令和7年中のクマの出没件数は7,038件、出没頭数は8,251頭で、前年比では出没件数が5,936件増加し、出没頭数が7,045頭増加しました。

クマによる人身被害件数(過去5年)



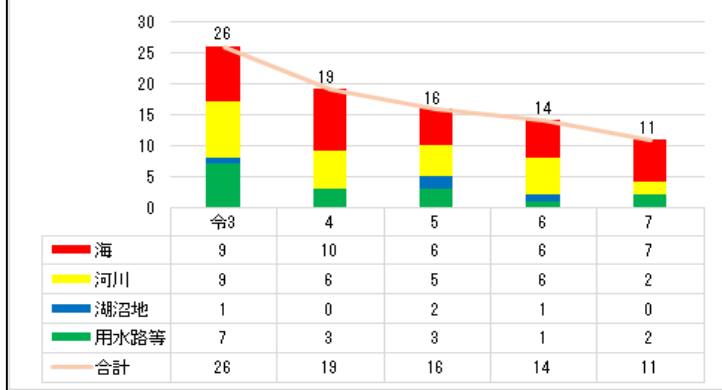
令和7年中のクマによる人身被害は59件(67人)で、前年比では49件(56人)増加しました。

山岳遭難発生状況・目的別(過去5年)



令和7年中の山岳遭難は26件発生し、うち山菜採りによる遭難が11件で全体の42.3%を占めています。

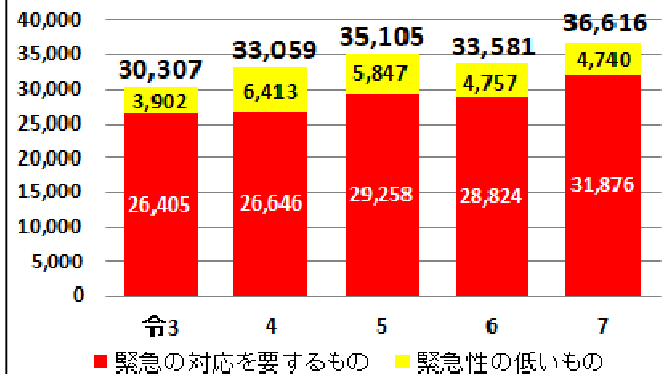
水難事故発生・場所別(過去5年)



令和7年中の水難は11件発生し、うち海と河川での事故が9件で全体の81.8%を占めています。

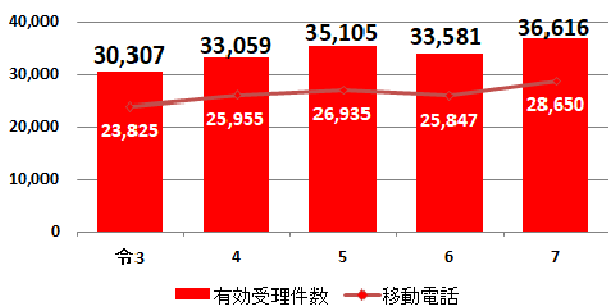
通信指令課

110番受理件数

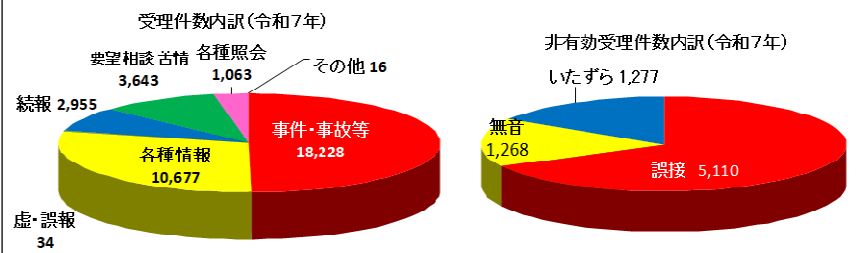


令和7年中の110番受理件数は36,616件で、前年比で3,035件増加しました。

携帯電話の推移



令和7年中の有効110番受理件数36,616件のうち、携帯電話等携帯電話からの受理件数は28,650件で全体の78.2%を占めます。



令和7年中の受理件数36,616件のうち、事件・事故等に関する通報が18,228件と最も多く全体49.8%を占めます。

令和7年中の非有効受理件数7,605件のうち、誤接が5,110件と最も多く、全体の67.2%を占めます。

人身安全対策課

脅威事犯（前兆事案）に対する先制・予防的活動



令和7年中、18歳未満の児童・生徒を対象とした声掛け等の脅威事犯（前兆事案）の発生は172件で、前年に比べ55件（24.2%）減少しています。また、解決件数は72件で、前年に比べ46件（38.9%）減少しています。

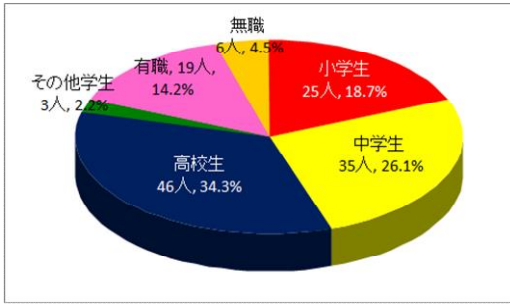
非行少年等の検挙・補導状況（過去5年）

区分	年次				
	令3	4	5	6	7
総数	120	93	107	135	134
犯罪少年	23	15	22	27	32
触法少年	77	56	72	83	94
ぐ犯少年	16	9	13	11	22
不良行為少年	41	37	35	52	40
	6	6	9	16	10
	2	0	0	0	0
	1	0	0	0	0
	562	666	668	772	841
	170	215	198	227	239

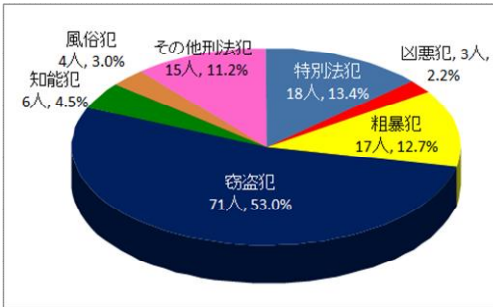
県内における令和7年中の非行少年は134人で、前年に比べ1人（0.7%）減少しています。飲酒、喫煙や深夜はいかい等で補導された不良行為少年は841人で、前年に比べて69人（8.9%）増加しています。

犯罪少年：罪を犯した14歳以上20歳未満の者
 触法少年：刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の者
 ぐ犯少年：将来、罪を犯し、または刑罰法令に触れる行為をするおそれのある20歳未満の者
 不良行為少年：飲酒、喫煙、深夜はいかい等自己又は他人の特性を害する行為をした者
 ※下段は女子で内数

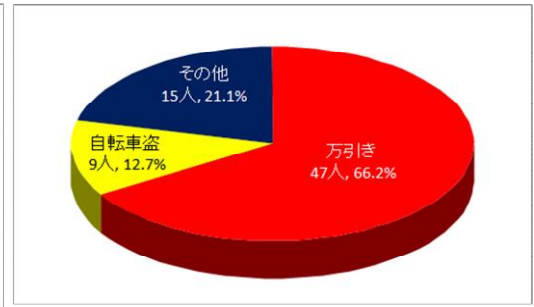
令和7年中の少年非行の主な特徴



非行少年の学職別

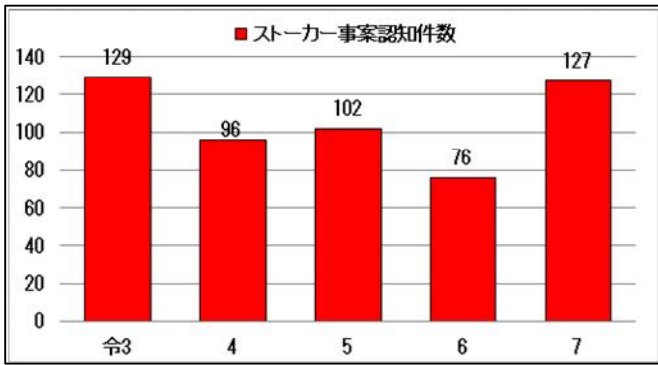


非行少年の罪種別



窃盗犯の内訳

非行少年は、高校生が最も多く46人、次いで中学生が35人となっており、高校生と中学生で全体の60.4%を占めています。窃盗犯として検挙・補導された少年が非行少年全体の53.0%を占めており、そのうち万引きで検挙・補導された少年は、66.2%です。

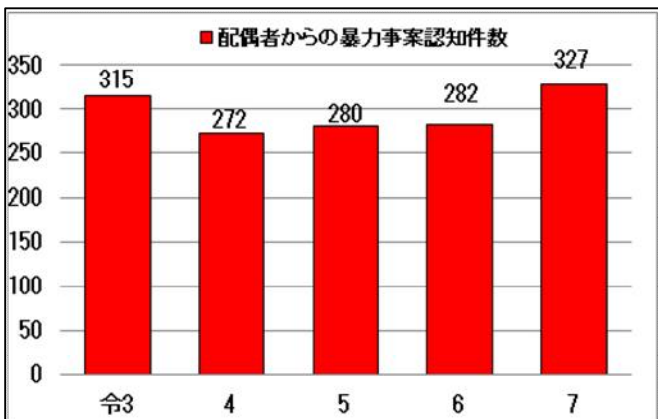


令和7年中におけるストーカー事案の認知件数は、127件で、前年より51件（67.1%）増加しました。

ストーカー事案検挙件数の推移（過去5年）

区分	検挙件数	検挙内容			
		ストーカー規制法検挙	他法令検挙	警告	禁止命令
令3	21	11	10	25	10
4	16	6	10	7	12
5	16	6	10	5	12
6	11	7	4	2	7
7	19	7	15	5	10
前年比	8	0	11	3	3

検挙件数は19件で、前年より8件（72.7%）増加しました。ストーカー規制法検挙は7件で、前年と同数でした。他法令検挙は15件で、前年より11件（275.0%）増加しました。警告は5件で、前年より3件（150.0%）増加しました。禁止命令は10件で、前年より3件（42.9%）増加しました。



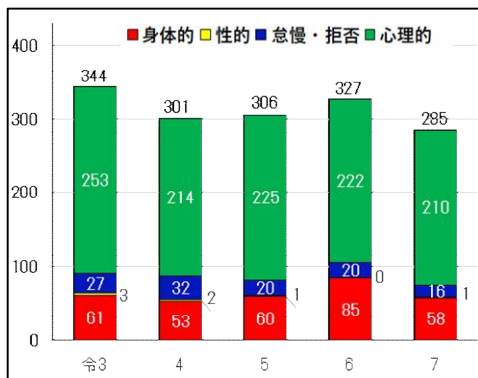
令和7年中における配偶者からの暴力事案の認知件数は327件で、前年より45件（16.0%）増加しました。

配偶者からの暴力事案検挙件数の推移（過去5年）

区分	検挙件数	検挙内容		
		DV防止法検挙	他法令検挙	保護命令
令3	13	1	12	6
4	8	0	8	5
5	15	2	13	12
6	10	1	9	9
7	10	0	10	7
前年比	0	△1	1	△2

検挙件数は10件で、前年と同数でした。DV防止法検挙は0件で、前年より1件（100%）減少しました。他法令検挙は10件で、前年より1件（11.1%）増加しました。保護命令は7件で、前年より2件（22.2%）減少しました。

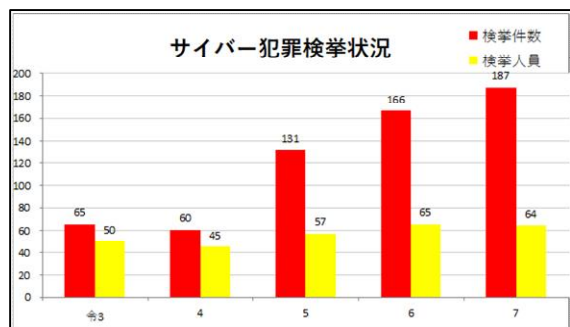
児童虐待通告児童数（過去5年）



児童虐待として通告した児童は、令和7年は285人で前年より42人（12.8%）減少しました。

区分 \ 年次	令3	4	5	6	7
通告人員（人）	344	301	306	327	285
身体的虐待	61	53	60	85	58
性的虐待	3	2	1	0	1
怠慢・拒否	27	32	20	20	16
心理的虐待	253	214	225	222	210

サイバー犯罪対策課



県内における令和7年中のサイバー犯罪の検挙件数は187件で、前年に比べ21件（12.7%）増加し、検挙人員は64人で、前年に比べ1人（1.5%）減少しました。